

## ■病理診断科研修プログラム

### 1) 一般目標

病理診断の重要性を理解し、病理診断を行ううえでの必要な知識、技術、態度を身に付ける。

### 2) 行動目標

1. 病理診断科での基本的業務の流れを理解し、病理検査結果を解釈できる。
2. 検査部での検体処理の流れを理解し、検査結果を解釈し、ときには適切な指示をしながら、検査技師と協力して検査を進めることができる。
3. 細胞診検体採取と提出が正確に行うことができる。

### 3) 研修方法

1. 病理診断科の基本的業務（受け付け、切り出し、包埋、薄切、染色、特染、免染、迅速診断）を技師・指導医または上級医のもとで見学、可能な限り自ら行う。
2. 消化管グループ分類を行う。消化器手術標本の診断を最低1例行う。
3. 細胞診スタンプ標本を作製、ギムザ染色を行う。
4. 細胞診ABCを見学し、検体処理について理解する。
5. グラム染色、血型判定、クロスマッチを自ら実施し、末梢血目視、尿沈渣、不規則抗体スクリーニングの異常所見を解釈できる。
6. 不幸にして亡くなられた方の臨床経過をCPCで発表、症例をレポートする。
7. できれば将来の専門分野について病理的知見を深める。

### 4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価
  - ・
  - ・

# 病理 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	切り出し	切り出し	切り出し	切り出し	切り出し
	検鏡	検鏡	検鏡	検鏡	検鏡
午後	検鏡	検鏡	検鏡	検鏡	検鏡
	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成
	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成	病理診断書作成